

# 第11回 静岡県教育のつどい in 島田市

## 語り合おう！



## 地域と学校にできること

### ～豊かな育ちと学びのために～

子どもたちは地域の宝、社会の希望です。ところが子育てや教育の現場では、さまざまな悩みや問題が山積み。子どもたちの育ちはどうあるべきか、学校とは何か、真の学びとはなにか、地域や社会がどう支えるべきかがあらためて問われています。

学校の主人公である子ども・青年を中心にすえ、保護者・市民・教師、そして子育てと教育にかかわる行政と諸団体のみなさんで、つどい、語り合い、共に考え合ひましょう。

日時 2018年11月23(金・祝), 24日(土)

場所 静岡県立島田商業高等学校

(〒427-0058 島田市祇園町8707)

参加費 無料 (24日は昼休みにもちつきをします。材料代500円。)

日程

11月23日(金) 12:00～受付 島田商業高校音楽部による歓迎演奏会

12:30～13:00 開会全体会

13:00～17:00「教育実践分科会」

1 「地域に生きる」授業・道徳 集団づくり

2 特別支援教育の実践報告分科会

11月24日(土) 9:30～受付

10:00～全体会

記念講演 宮下与兵衛さん(首都大学東京・特任教授

「子どもと共につくる地域と学校」

13:00～市民と共に考える「共育」分科会(問題別・課題別分科会)

～16:00



### 《静岡県教職員互助組合補助事業》

主催 静岡県教育のつどい実行委員会

後援 島田市、島田市教育委員会、吉田町 (申請中)

問い合わせ 静岡県教育のつどい実行委員会事務局 054-253-3331 全教静岡組

054-254-6900 静岡高教組

## ◆教育実践分科会

23日(金) 13:00~17:00

	分科会名	語り合いたい内容
1	小・中・高を見通した 授業・学級づくり	小・中・高の教員3人の先生が、地域とつながる授業実践を紹介 します。子どもたちが興味を持って取り組む授業、子どもたちに自 己肯定感を持たせながら取り組んだ総合科の授業などが報告され ます。 実践の中にある宝物を一緒に見つけましょう。
2	特別支援教育 —東海ブロック集会の 小分科会—	①小・中学校 障害児学級・通常学級の実践、 ②特別支援学校・訪問教育・寄宿舎などの小・中学部の実践、 ③高等部・青年期の教育(特別支援学校・青年学級・生活支援事業 など)日頃の実践を交流し合い、明日からの取り組みに生かしまし ょう。各県の障害児教育の制度や状況を交流し合いましょう。

## ◆記念講演 24日(土) 10:00~ ホール

《静岡県教職員互助組合高校支部 教育講演会》

主催 静岡県教育のつどい実行委員会・静岡県教育研究会・静岡県教育会館・静岡県教育事業団体連絡会

宮下与兵衛さん(首都大学東京・特任教授)

「子どもと共につくる地域と学校」



### 宮下与兵衛氏プロフィール

1953年長野県生まれ。早稲田大学卒業後、長野県の高教員を37年間勤める。辰野高校には1996年度から2007年度まで勤務。54歳で退職して大学院に入り、翌年から定時制高校に勤務しながら、東京大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学。定年退職後の2013年度より現職。著作『学校を変える生徒たち』『地域を変える高校生』等

長野県辰野高校の商業科のビジネス・マスターコースの生徒たちが、元クリーニング店の店舗を借り受けて、「お年寄りが懐かしく思ってもらえる昭和レトロを意識したカフェ」をひらき、翌年には「歌声喫茶」も開かれる盛況ぶり。

地域住民との町おこしシンポジウム、服装自化とみんなで作った標準服、2年間の論議で実ったアルバイト規定の見直し、生徒の提案による授業・施設の改善…「三者協議会」「フォーラム」は、生徒の自立を促し、高校生たちが、父母・教職員と共に、学校を変え、地域活性化に取り組み、「開かれた学校」づくりへと向かわせた。

### ◆障害児教育部

東海・北陸ブロック学習交流集会 講演会 24日(土) 10:00~ 大会議室

講師 松本正良 さん(児童発達支援事業「なずな」施設長)

「今、子どもによりそう支援とは 障害者の親として、教師として」

# ◆市民と共に考える「共育」分科会

24日（土）13：00～16：30

	テーマ	語り合いたい内容
A	<b>多様な価値を認める 道徳教育</b>	今年度から小学校で道徳の教科化が始まり、中学校の道徳教科書が採択されました。 学校での道徳の授業を紹介したり、模擬授業をしたりして、より高い価値を生み出せる授業をどう作るかをみんなで話し合しましょう。
B	<b>子どもの居場所 —あそび・くらし・学び—</b>	くらし支援、学習支援、子ども支援の団体、放課後児童クラブ、放課後等ディサービス等での子どもたちとの関わりを交流し合しましょう。 豊かな育ちと学びのために子どもたちにできることを話し合しましょう。
C	<b>特別な支援が必要な人たち —障がいのある人たちと 共に地域でくらす—</b>	「できない」「わからない」を乗り越えて、「障がい」を持った人たちの「育ち」と「学び」と「共生」のあり方を考え合しましょう。
D	<b>地域と共につくる学校</b>	高校生が課題研究で、地域のお店で実習をしたり、商品開発をしたりして、地域とつながっています。学校と地域のつながりや、学校が地域に果たす役割について、みんなで話し合しましょう。
E	<b>「ガイドライン」で 部活は変わるか？</b>	「ブラック」とも呼ばれる部活の現状と望ましいあり方とは？ 「ガイドライン」は実感としてどうかを検証していきたい。教員・生徒・保護者など様々な立場からの発言で共に考えましょう。

**YEC（若者エンパワメント委員会）**は、静岡県立大学を中心に、静岡大学、常葉大学などの大学生メンバーで構成される、若者の社会参画を活性化し、若者が社会の力となっている状態を目指す静岡の学生団体です。

YECは、若者が社会のメンバーとして

「この社会をより良くしていけるんだ」という自信を持っている状態、社会の中で「こうありたい」という自分を実現させている状態、そしてそれを通じて、若者が社会のチカラになっている状態を実現することを目指して、静岡県立大学の学生と教員を中心に2009年に発足した学生団体です。

**SSS（静岡学習支援ネットワーク）**は「勉強をしたくても、できない子どもたち」の力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生した団体です。

「勉強すること、学ぶことは楽しい！」そう感じてもらえるような場所を作るために、しっかりと勉強に集中する時間の中に、時々レクリエーションも加えつつ教室を運営しています。

なお、当団体は2015年3月10日に法人格を取得し、「一般社団法人静岡学習支援ネットワーク」となりました。





## □会場 島田商業高等学校へのアクセス

〒427-0058 島田市祇園町8707

島田駅から徒歩17分

校内の駐車場は、許可車両が利用します。

北口から入ってください。

一般の方は、周辺の駐車場をご利用ください。



### 【申し込み・問い合わせ先】

#### ■ 第11回静岡県教育のつどい実行委員会事務局

須部友康 Tel&Fax 053-433-9851 [MLD33569@nifty.com](mailto:MLD33569@nifty.com)

#### ■ 高教組は 静岡高教組 054-254-6900 FAX 054-254-0814 [info@s-koukyouso.jp](mailto:info@s-koukyouso.jp)

#### ■ 教職員の参加申し込みは、FAX またはメールにてお願いします。

交流会の手配の関係で、11月8日(水)までに申し込みをしてください。

○交流会 ホテル割烹三布袋 5000円(組合員は半額補助)

○宿泊 ホテル割烹三布袋 シングル 6500円(組合員は半額補助)

4人部屋 5000円(組合員は半額補助)

三布袋(さんほてい)(Tel 0547-37-2032)

## 参加申込書

所属	ご氏名	連絡方法
----	-----	------

参加希望に○を記入してください。希望する分科会名もお願いします。 交流会希望にも○を

	参加希望	参加希望分科会
11月23日(金) 12:00~受付		
12:30~開会全体集会		
13:00~教育実践分科会		1・2
18:30~夕食・交流会(5000円) 三布袋		
宿泊 三布袋 (シングル 6500円、 4人部屋 5000円)		禁煙・喫煙
11月24日(土) 9:30~受付		
10:00~記念講演		
12:00~13:00「もちつき」して昼食(500円)		
13:00~「共育」分科会 ~16:00		(A B C D E)